

アルジオキサ散 Aldioxa Powder

溶出試験 本品の表示量に従いアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) 約 0.1 g に対応する量を精密に量り、試験液に水 900 mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20 mL 以上をとり、孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き、次のろ液 V mL を正確に量り、表示量に従い 1 mL 中にアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) 約 22 μ g を含む液となるように薄めた pH 10.0 の アンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (1 : 10) を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別にアルジオキサ標準品を 105 度で 2 時間乾燥し、その約 0.028 g を精密に量り、フッ化ナトリウム・塩酸試液に溶かし、正確に 25 mL とする。この液 1 mL を正確に量り、薄めた pH 10.0 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (1 : 10) を加えて正確に 50 mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 223 nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

アルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 72$$

W_S : アルジオキサ標準品の量 (mg)

W_T : アルジオキサ散の秤取量 (g)

C : 1 g 中のアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) の表示量 (mg)

溶出規格

| 表示量 | 規定時間 | 溶出率 |
|----------|------|-------|
| 200 mg/g | 15 分 | 85%以上 |

アルジオキサ細粒 Aldioxa Fine Granules

溶出試験 本品の表示量に従いアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) 約 0.1 g に対応する量を精密に量り、試験液に水 900 mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20 mL 以上をとり、孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き、次のろ液 V mL を正確に量り、表示量に従い 1 mL 中にアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) 約 22 μ g を含む液となるように薄めた pH 10.0 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (1 : 10) を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別にアルジオキサ標準品を 105 分で 2 時間乾燥し、その約 0.028 g を精密に量り、フッ化ナトリウム・塩酸試液に溶かし、正確に 25 mL とする。この液 1 mL を正確に量り、薄めた pH 10.0 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (1 : 10) を加えて正確に 50 mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 223 nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

アルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 72$$

W_S : アルジオキサ標準品の量 (mg)

W_T : アルジオキサ細粒の秤取量 (g)

C : 1 g 中のアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) の表示量 (mg)

溶出規格

| 表示量 | 規定時間 | 溶出率 |
|----------|------|-------|
| 250 mg/g | 15 分 | 85%以上 |

アルジオキサ顆粒 Aldioxa Granules

溶出試験 本品の表示量に従いアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) 約 0.1 g に対応する量を精密に量り、試験液に水 900 mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20 mL 以上をとり、孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き、次のろ液 V mL を正確に量り、表示量に従い 1 mL 中にアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) 約 22 μ g を含む液となるように薄めた pH 10.0 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (1 : 10) を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別にアルジオキサ標準品を 105 分で 2 時間乾燥し、その約 0.028 g を精密に量り、フッ化ナトリウム・塩酸試液に溶かし、正確に 25 mL とする。この液 1 mL を正確に量り、薄めた pH 10.0 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (1 : 10) を加えて正確に 50 mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 223 nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

アルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 72$$

W_S : アルジオキサ標準品の量 (mg)

W_T : アルジオキサ顆粒の秤取量 (g)

C : 1 g 中のアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) の表示量 (mg)

溶出規格

| 表示量 | 規定時間 | 溶出率 |
|----------|------|--------|
| 100 mg/g | 15 分 | 85% 以上 |
| 200 mg/g | 15 分 | 85% 以上 |
| 250 mg/g | 15 分 | 85% 以上 |
| 500 mg/g | 15 分 | 85% 以上 |

アルジオキサ錠 Aldioxa Tablets

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に水 900 mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20 mL 以上をとり、孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き、次のろ液 V mL を正確に量り、表示量に従い 1 mL 中にアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) 約 22 μ g を含む液となるように薄めた pH 10.0 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (1 : 10) を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別にアルジオキサ標準品を 105 で 2 時間乾燥し、その約 0.028 g を精密に量り、フッ化ナトリウム・塩酸試液に溶かし、正確に 25 mL とする。この液 1 mL を正確に量り、薄めた pH 10.0 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (1 : 10) を加えて正確に 50 mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 223 nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

アルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 72$$

W_S : アルジオキサ標準品の量 (mg)

C : 1 錠中のアルジオキサ ($C_4H_7AlN_4O_5$) の表示量 (mg)

溶出規格

| 表示量 | 規定時間 | 溶出率 |
|--------|------|--------|
| 50 mg | 15 分 | 80% 以上 |
| 100 mg | 30 分 | 70% 以上 |